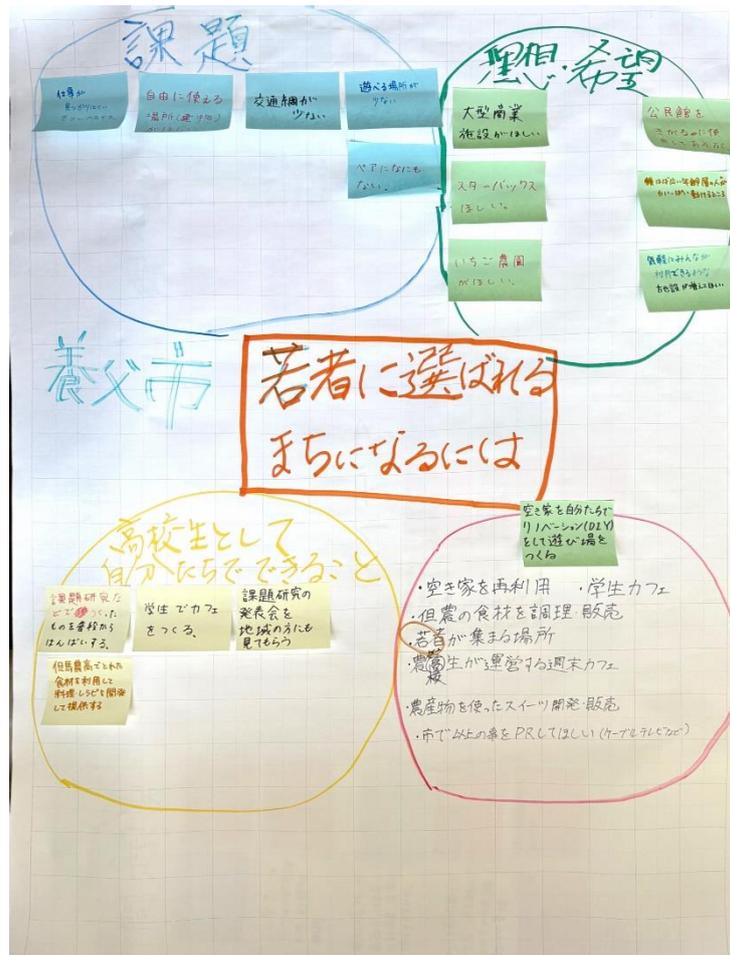


# 高校生との意見交換会 報告書

学校名	兵庫県立但馬農業高等学校		
年月日	令和7年7月14日	会場名	兵庫県立但馬農業高等学校 2階 会議室
開始時間	13時30分	終了時間	15時00分
参加数	生徒 10人	議員 6人	合計 16人
班長	藤原 芳巳	報告者	高橋展子、前田 稔、川瀬 稔、藤原芳巳
班員名	(グループA) ○高橋展子、津崎和男 (グループB) ○前田 稔、藤原芳巳 (グループC) ○川瀬 稔、西垣 司 (○印…進行役)		
テーマ	若者に選ばれるまちになるには？		

## グループ1



### 【出された意見・アイデア】

#### (課題)

- ・仕事が見つかりにくい。
- ・自由に使える場所(建物)がほしい。
- ・YBファブのフリースペースの席が少ない。
- ・交通網が少ない。
- ・遊ぶ場所が少ない。
- ・ペアになにもない。

#### (理想・希望)

- ・大型商業施設がほしい。
- ・スターバックスほしい。
- ・いちご農園がほしい。
- ・公民館を気軽に使用して遊ぶ。
- ・はば広い年齢層の人がいっぱい動けるところ。
- ・気軽にみんなが利用できるような施設が増えてほしい。

(若者に選ばれるまちになるには)

- ・空き家を自分たちで リノベーション (D I Y) をして遊び場をつくる。
- ・空き家を再利用。
  - ・学生カフェ
- ・但農の食材を調理・販売。
  - ・若者が集まる場所。
- ・農高生が運営する週末カフェ。
  - ・農産物を使ったスイーツ開発・販売。
- ・市で以上の事をPRしてほしい(ケーブルテレビなど)。

(高校生として自分たちでできること)

- ・課題研究などでつくったものを普段から販売する。・学生でカフェをつくる。
- ・課題研究の発表会を地域の方にも見てもらう。
- ・但馬農高でとれた食材を利用して料理・レシピを開発して提供する。

### 【グループ1 ワークショップ】

#### 1. 養父市の好きなところは？

癒しのお宮・自然豊かな建屋地区・抜け道探索散歩など、田舎暮らしが嫌ではなく、どちらかといえば好きだと思っていると感じられた。

#### 2. 養父市の課題と思うことは？

- ・仕事が見つかりにくい。特に農業においては個人経営で、農業に就業したくても（特に自分の家庭が農業に従事していない場合）、求人情報がなく、諦める人もいる。
- ・交通網が少ない。通学、特に帰りのバスの本数が少なく、養父地区方面と但農の間は乗り換えもあり大変だ。
- ・ペアやY B ファブなどの施設の中身が寂しい。

#### 3. 若者に選ばれるまちになるために理想・希望は？

- ・飲食店やカフェや買い物が一か所にあるショッピングモール。
- ・またY B ファブにフリースペースがもっとあって若者が集える場所がほしい。
- ・空き家を利用した学生カフェなど、若者の居場所づくり。若者が集える空間が必要。

#### 4. 若者に選ばれるまちになるために、但農生としてできることは？

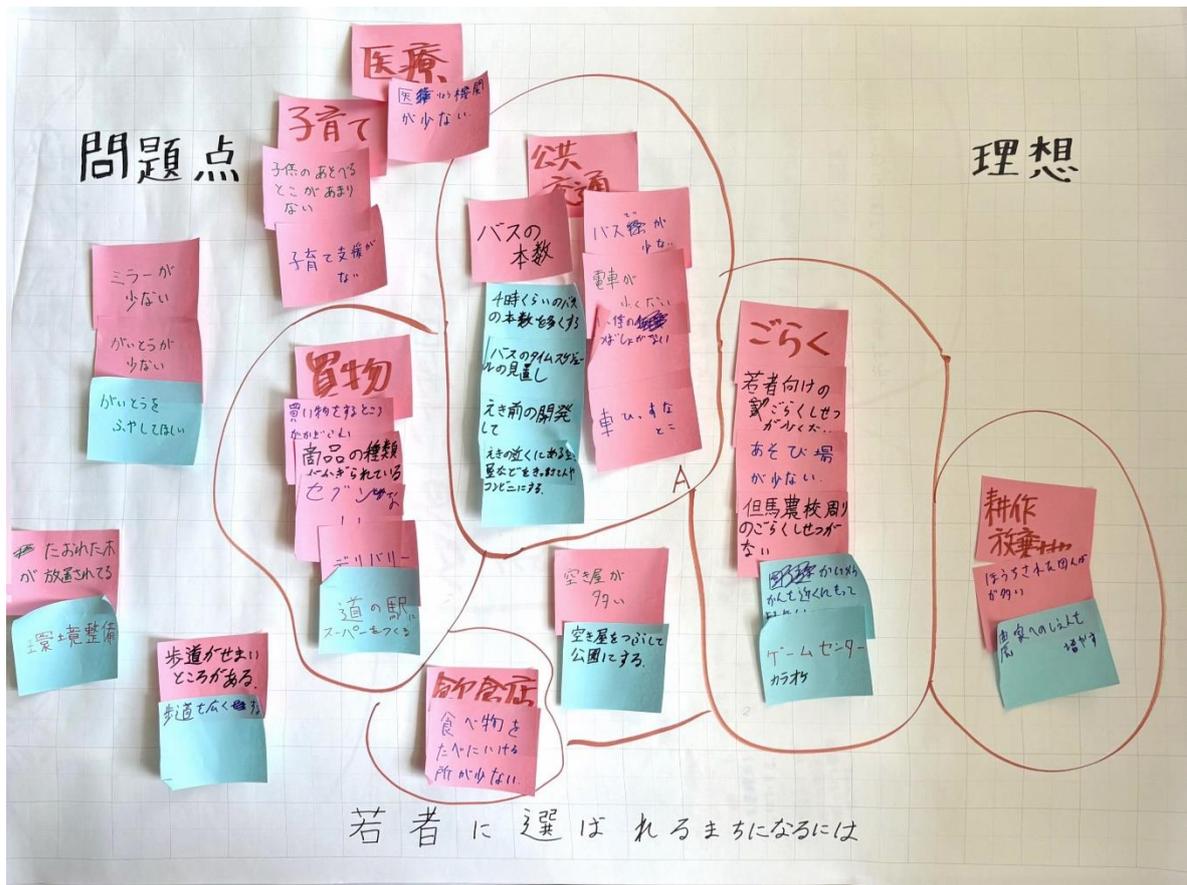
- ・但農の食材を調理・販売。
- ・農産物を使ったスイーツ開発・販売。
- ・農高生が運営する週末カフェ。

など、課題研究し開発したものを養父市民に届けたい、という熱意を感じた。

### 【グループ1まとめ】

- ・小中学生だけでなく、高校生の通学に対する公共交通機関の利便性向上の必要性。
- ・養父市の農業に関する情報を若者が使う媒体で発信の工夫。
- ・若者の居場所づくりと空き家の再利用は、地域活性化と社会的課題の解決を同時に進める可能性を秘めている。
- ・地域と学校が協働する「共育」の推進として空き施設や廃校舎の活用による学びの場の展開。
- ・「このまちに貢献したい」「より多くの人に〈但農ブランド〉の存在を知ってもらいたい」という但農生の意欲の支援。
- ・高校生による商品開発や農業実習の様子を市広報誌やケーブルテレビなどで、地域住民への周知を強化する。

## グループ2



### 【出された意見・アイデア】

#### 問題点

- ・但馬農高周り等、また若者向けの娯楽施設が少ない。
- ・スーパーマーケットやコンビニエンスストアが少なく、品物が限られる。
- ・空き家が多い。
- ・レストランや喫茶店が少ない（食べ物を食べにいける所が少ない）。
- ・バス停が少なく、バスの本数も少ない。      ・電車の本数が少ないため、車が必要。
- ・道路事情が悪い（歩道が狭いところがあり、ミラーや街灯が少ない）。
- ・耕作放棄地（田んぼ）が多い。      ・医療機関が少なく、子育て支援が少ない。

#### 解決策（理想）

- ・バス運行の見直し（通勤・通学帯の増便）。
- ・駅前開発（駅周辺の空き家などを喫茶店・コンビニ・公園にする。）。
- ・道路環境の改善（街灯を増やし、歩道を広くする）。
- ・道の駅にスーパーマーケットを併設する。      ・遊興施設（ゲームセンター、カラオケ等）を造る。
- ・耕作放棄地農家への支援を増やす。

### 【グループ2まとめ】

#### 若者に選ばれるまちになるには

- ・公共交通（電車・バス運行の見直し（通勤・通学帯の増便））。
- ・駅前開発（駅周辺の空き家などを喫茶店・コンビニ・公園にする。）。
- ・買い物先や商品が少ない。道の駅にもスーパーマーケットを併設。
- ・耕作放棄地解消に向け、農家への支援を増やす。



ま と め	<p>高校生との意見交換会、新たな手法としてワークショップ形式で3つのグループに分かれて、テーマを「若者に選ばれるまちになるには」として行った。それぞれに出された提案を概ね次のように集約した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通の利便性向上が必要。赤字問題や運転手不足を考慮した上で運行スケジュールを見直すなど、特に通学について、実現可能な対策を検討する。</li> <li>2. 八鹿駅前の再開発を行い、飲食店や商業施設の誘致を図る。（若者の居場所になる）</li> <li>3. 空き家を活用してゲストハウスやカフェにリノベーションする。また、撤去した跡地の公園化を図る。（若者の居場所になる）</li> <li>4. 耕作放棄地の解消は、農業従事者への直接的な支援の強化と農業就労への求人情報が必要。</li> <li>5. 但馬農業高校で生産した食材を調理したり、スイーツ開発して販売していく。それらを使って、農高生も参加した週末カフェを運営する。</li> </ol>
-------------	--

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年8月5日

報告者 班長 藤原 芳巳